

おみやげは、「新たなえにし」+α o(〰〰)o(〰〰)o(〰〰)o

◆「えにし」出生の秘密◆

福祉と医療・現場と政策の「新たなえにし」を結ぶ会は、2001年5月12日、ここ、プレスセンターで誕生しました。制度や予算の壁にぶつかりながら道を切り開いている当事者や現場スタッフ、現場に学んで制度や政策をつくろうとしている行政官や首長、勉強熱心なジャーナリスト、研究者のみなさん、あわせて、450人。私が朝日新聞から大阪大学大学院にうつることを励ましてくださる集いでした。ところが、私には電話1本で助言してくださる方々が、お互い見知らぬ人だったのです。この日、不思議な「えにし」が結ばれ、毎年、開かれることになり、第17回を迎えました。

表紙は、「えにし」の樹に飛んできてくださった方々をイメージしたレイアウトボランティアの創作。下は、夜の部を終えての居酒屋。沖縄の仲地宗幸さんの三線の名人芸に誘われて踊りだしたみなさんです。そして、去年の会の直前に起きた地震の被害にあった方々のために急遽作られたくまモン募金箱。この後も飛び回り募金額は50万円を超えました。

◆「えにし」のホームページと「えにしメール」と◆

志をつなぐ道具は、えにしのHPと「えにしメール」、そして、年に1度の「えにし」のつどいです。「えにしメール」には2つの“特技”があります。1つは、マスメディアで報じられない大事なnewsが載っていること。。スポンサーも上司もいないのでのびのびと、でも、正確を旨としてお送りしています。もう1つは、発信するだけでなく、「志の縁結び係&小間使い」として、志をともにする方や分野を繋ぐことです。2001年には30通だった宛先が、まは、7000通を超えました。米、英、仏、独、伊、スイス、オランダ、ベルギー、北欧4か国諸国、マレーシア、ルアンダ、韓国、台湾、オーストラリア、フィリピン、ラオス、そして日本の友人知人が読んだり、転送したりしてくださっています。

◆ 糸へんづくし◆

胸元の名札やテーブルの上の番号の上下、このページの上下の縁飾りにお気づきになりましたか？ 拡大すると、
縁…絆…縁…絡…縁…紡…縁…編…縁…網…縁…繫…縁…繰…縁…札…縁…絆…縁

「縁」という字のあいだに糸へんの字がはさまれています。「えにし」のグラフィックデザイナーの牧ロー二さんが、つどいがスタートしたときに、デザインしてくださいました。「人間っていろんな糸へんが、絡みあい、紡ぎあって、編まれているんですね。ネット（網）とか、繋がるとか。どうぞいつまでも継続していただけますように。結び。ナンチャッテ」。糸へん飾りのついた名札を、ケースからはずして、記念に、どうぞ(´-`)☆。

